



第 61 号
羽 昨 工 業 高 等 学 校
2022年3月3日



PTA会長
西 一 能

未来へ羽ばたけ!

卒業生の皆様、また、保護者の皆様、ご卒業、誠におめでとうござい
ます。羽工で過ごした三年間の日々
を胸に、これから新しい場所へと旅
立っていきます。友達や先生と過ご
した穏やかで楽しかった日々、就職
や進学に向けて駆け抜けた日々、い
ろいろな思いが胸の中で交錯してい
ると思います。

羽工は今までも地域の地域産業を
支えていく原動力となるような、優
秀な人材を数多く送り出してきた工
業の専門高校です。生徒たちは「も
のづくり」の基礎となる技術力・学

力・専門知識と共にコミュニケーションに大切な人間力までここで学び、蓄えて参りました。色々な能力が求められるという点では現代は確かに難しい時代かもしれませんが、しかし、色んなことに挑戦し、達成し、成長し続けてきた羽工生であれば、きつとどこに行っても大丈夫だろう、と私達は確信しております。

今年度はご存じのとおり、新型コロナウィルスの影響が、色濃く残る一年でありました。また、残念ながら新年に入り、更にオミクロン株の感染拡大が続いております。もしかしら、どうしてこんな時に三年生を迎えてしまったのだ、という運の悪さを感じる生徒もいるかもしれません。

しかし、いろんなことが突然、降つたように起こるといふ経験は、必ず皆さんの人生の「糧」となります。この未曾有の事態をここで乗り切つたことを自信に変えて、十年後にチャンスだった、と言えるような人生を



3年生修学旅行の様子

送っていただく下さい。十八年間という時間は長いように感じるかもしれませんが、人生という「旅」の中ではまだ序の口です。私達はそんな時期を頑張ってきた皆さんの人生を見守り、これからも支えていきたいと考えております。

一生の宝となる「チーム羽工」での三年間というのは、人生の中でも特別なものです。修学旅行や羽工祭など、素晴らしい時間を仲間達や先生方と過ごせたことを喜びと希望に変えて、新しい世界へ飛び出していただく下さい。ここから羽ばたいていく皆さんに私達は大きなエールを贈りたいと思います。

最後に、北野校長先生を始め、諸先生方、学校関係者の皆様には、時には厳しく、そして温かく生徒たち

を見守りご指導いただいたこと、厚く御礼申し上げます。三年間、健やかに伸びやかに生徒たちが過ごすことができたことは、先生方のお陰であります。保護者を代表いたしまして心より感謝いたします。また、保護者の皆様におかれましては三年間、PTAの活動にご理解とご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今年度はなかなか活動できなかった一年でしたが、皆様の温かな心遣いに、PTA役員一同、大変感謝しております。

この栄ある伝統の母校、羽工工業高等学校生徒としての誇りを胸に、校歌のごとく「すぐれたる子ら巣立つべし」と、皆さんの新しい旅路に大きな幸があることを祈りつつ、私からの祝辞とさせていただきます。ご卒業、誠におめでとうございます。



羽工祭の様子



校長 北野 浩和

学校でしか できない学び

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動の推進に多大なご協力と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様が三年間の高校生活を終え、晴れの門出を迎えられたことに心よりお祝いを申し上げます。そして、在校生は新年度に向けて、新三年生はいよいよ進路決定の学年に、新二年生は専門性にさらに磨きをかけ成果が一層求められる学年になります。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止を行いながら、十月以降、授業はもちろんですが、様々な行事を実施することができました。中学生の体験入学、インターンシップとデュアルシステム、校内マラソン大会、マイコンカラーリー北信越大会、学校公開とモノづくり講演会、部活動の新人大会、献血セミナー、二年生の修学旅行、中学生・保護者の学



本校で開催されたマイコンカラーリー北信越大会

校施設見学会、校内バスケットボール大会、校内カルタ大会、課題研究の校内発表会・公開発表会、卒業生を送る会など、本当に多くの学校行事を、そのたびに工夫しながら無事に行うことができました。一月には一日間の臨時休業を行いましたが、通常に近い学校での学びを継続できています。

このようなコロナ禍の経験は、「学校でしかできない学びとは何か」を考える契機となりました。

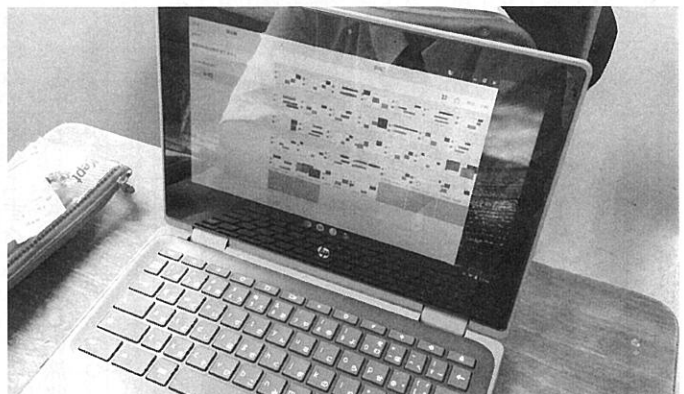
集団性・社会性・コミュニケーション力・人間性・人間関係・人と協力する力・社会的な問題解決能力・感情コントロール力など、学校生活を

とおして、将来社会に出たときに必要となる様々な力が育まれていくと思います。卒業後すぐに社会に出る生徒が多い本校だからこそ、勉強だけではない「学校でしかできない学び」となっています。

翻って、学習に目を向けてみると、文部科学省はどのように学ぶかについて「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、本校の学習指導方針にもなっています。

その実現を考える時、対面での活動に勝るものはないと感じています。令和二年度の臨時休業中にビデオ会議システム(ZoomやGoogle Meet)での授業や授業のビデオ配信を行いました。今年度に入ってから、講演会、講習会、会議、質疑応答や話し合いで使用してみました。自分の考えを表現する・発言する時には、教室とは違って、結構勇気が必要で、すし、相手の意見を聞く場面では集中力が低くなるように感じました。

学校での話し合いの場合は、自分の意見に対する相手の反応がすぐに返ってきたり、お互いの息遣いや表情がすぐ間近にあり、パソコンやスマホの画面とは大きく異なりました。対面での言葉や表情のやり取りは、生徒たちの集中力が持続し、話し合いをしている中で、相手の課題も「自分ごと」として捉えられ、協働的な学びもありました。学習場面での「集中力の維持」と「他者との繋がり」は、学



クラウドブックを活用した授業

習効果を高め、「学校でしかできない学び」となっています。

子ども達の将来のために、私たち教職員が一丸となって学校での学びがより良いものになるよう努力し、四月からの一人一台タブレットなどのICTの良さも活かして、「人と人を繋ぐ学校」にするとともに、保護者の皆様や地域と連携し、「地域に貢献できる立派な人材の育成」を目指して参りたいと思います。

最後に、保護者の皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後より一層のご理解と温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

羽工祭

九月二十四日(金)・二十五日(土)に羽工祭が開催されました。二十四日(金)は各クラスのステージ発表が、二十五日(土)は生徒会企画や建築コーラスによる奉燈祭り、各クラスの模擬店・文化部の展示などの催しが行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、一般公開は行われませんでした。また、毎年、PTA役員の方々が模擬店を出店しておりましたが、九月三日(金)に行われたPTA役員会・母親合同委員会にて今年度の模擬店出店はしないことに決定いたしました。



羽工祭1日目の様子



ステージ発表



羽工祭2日目の様子

学校公開

十一月一日(月)～五日(金)に学校公開がありました。三日(水・祝)にはモノづくり講演会やPTA母親委員会によるPTA研修会、食育講演会「高校生と食育、食の自立を目指して」が行われました。

食育講演会

PTA研修会 に参加して

書記 浅川 由香

十一月三日(水)に食育講演会に参加しました。講師は羽咋市立羽咋小学校栄養教諭の杉森千亜紀先生でした。

弁当、料理づくりについて自分は完璧にできず、食育と聞くとさらに身構えてしまっていました。聞いてみると目から鱗状態でした。

講師の方が小学校の保護者から、「朝時間がないとき栄養をバランスよくとるにはどうしたらよいか」という質問があったという話があり、その質問に対し冷凍食品を活用したり、おにぎりに具材を何種類か入れたり、チャーハンにしたりする、などの回答をしたと言われていました。今まで冷凍食品を使用していて、罪悪感がありました。栄養バランスのた



講師の 杉森 千亜紀 先生



食育講演会の様子

めの活用と考えると気分が楽になりました。これからは完璧な栄養バランスを考えた料理は難しいですが、講演会の内容を活用していきたいと思っています。よい機会を与えて頂きましてありがとうございました。